

令和 8 年度

人吉高等学校 定時制課程

シラバス

2 年

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位数	3	開講 学年	2年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 生涯にわたる言語生活の基盤となる国語の知識や技能を習得するとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 言葉を通して、伝統や文化の在り方、それらと現代との関わりについて深く思考し、自分の考えを形成する力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 言葉のもつ価値を認識するとともに、伝統や文化を継承し発展させようとする態度や、情緒を豊かにし、言葉を通して自己を向上させようとする態度を養う。</p>
------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (24時間)	【言語事項】② <漢字の学び直し>	(知 技) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。 (主体性) 習得漢字を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。	(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出
	【古文】(古文入門)⑨ 古文を読むためにⅠ 古文を読むためにⅡ 古文の学習 絵仏師良秀 *単元テスト	(知 技) 歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりや品詞の種類についてのきまりを理解することができるようになった。 (思判表) 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取り、作品に表れているものの見方や考え方を捉えることが出来るようになった。 (主体性) 学習の見通しを持つて、積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えることができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【近現代の詩歌】(詩)⑥ いしのうえ 一つのメルヘン 自分の感受性くらい	(知 技) 現代詩の基礎基本を理解することが出来るようになった。 (思判表) 作品に込められた作者の心情や、メッセージを読み取り、作品に表されているものの見方や考え方を捉え、内容を理解することができるようになった。 (主体性) 描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合うことができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【漢文】(漢文入門)⑦ 漢文の学習 訓読に親しむ(一) 訓読に親しむ(二)	(知 技) 我が国の文化と外国の文化との関係について理解し、漢文を訓読するための基礎知識として、訓読のきまりを理解することができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査

	<p>訓読に親しむ (三) * 単元テスト</p>	<p>(思判表) 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意味を知ることができるようになった。 (主体性) これからの学習に見通しを持つて、漢文訓読の基礎知識を積極的に身に付けることができるようになった。</p>	<p>(思判表) ワークシート 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【言語事項】① 〈漢字・語句の意味〉</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けられるようになった。 (主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>
<p>前期期末 まで (24 時間)</p>	<p>【漢文】⑧ 〈故事成語・戦国策〉 漁夫之利 狐借虎威 蛇足 * 単元テスト</p>	<p>(知 技) 漢文の訓読に慣れるとともに訓読のきまりを理解することが出来るようになった。 作品の歴史的・文化的背景を理解し、現在使われている言葉が漢文に由来することを知ることができるようになった。 (思判表) 文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉えることができるようになった。 (主体性) 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめることができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【言語活動】② 故事成語の由来と意味を調べる 〔歴史の窓〕</p>	<p>(知 技) 故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができるようになった。 (思判表) 課題に応じて調査することができるようになった。 (主体性) 故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめることができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 相互評価 自己評価 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【古文】(随筆1)⑦ 〈枕草子〉 春はあけぼの はしたなきもの 古文を読むために3 古文を読むために4 * 単元テスト【古文】(日記)</p>	<p>(知 技) 語句の量や語彙を豊かにし、作品の歴史的・文化的背景を理解することができるようになった。 用言の活用について理解し、助動詞について理解することができるようになった。 (思判表) 自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解することができるようになった。 (主体性) 作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合うことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 相互評価 自己評価 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>

	<p>【古文】(軍記物語)⑥ <平家物語> 祇園精舎 木曾の最後 *単元テスト</p>	<p>(知 技) 語句の量を増やし、語彙を豊かにするとともに、敬語について文語のきまりを理解することができるようになった。 (思判表) 軍記物語という文章の種類を踏まえて、作品に表れている無常観や武士の生き方を捉えることができるようになった。 (主体性) 学習の見通しを持つて作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【言語事項】① 漢字・語句の意味</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けられるようになった。 (主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【漢文】(史伝)⑩ <十八史略> 完璧 先従隗始 臥薪嘗胆 *単元テスト</p>	<p>(知 技) 訓読のきまりを理解し、語句の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができるようになった。 (思判表) 史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を理解することができるようになった。 (主体性) 積極的に史伝を読み、史伝の特徴を理解しようとし、たとえ話における論理を説明することができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
<p>後期中間 まで (27 時間)</p>	<p>【古文】(古典の詩歌)⑩ <古典の詩歌> 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 古文をよむために7 *単元テスト</p>	<p>(知 技) 語句の量や語彙を豊かにし、我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解することができるようになった。 (思判表) 我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、情景や心情など、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を理解することができるようになった。 (主体性) 作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞することができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【漢文】思想⑥ <論語> [歴史の窓]</p>	<p>(知 技) 訓読のきまりを理解し、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができるようになった。 (思判表) 日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、内容や展開を的確に捉え、孔子のものの見方や考え方を理解することができるようになった。 (主体性) 孔子について興味をもち、『論語』が</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト</p>

		我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするとところを粘り強く説明することができるようになった。	定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
後期期末 まで (24時間)	【言語事項】① 漢字・語句の意味	(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。 (主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができるようになった。	(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出
	【漢文】(漢詩)⑨ ＜唐詩の世界＞ 春暁(孟浩然) 送元二使安西(王維) 春望(杜甫) 読家書(菅原道真) [歴史の窓] *単元テスト	(知 技) 漢詩のきまり(詩形・押韻・構成・対句)について理解できるようになった。 (思判表) 中国の自然や、人間の心理が、詩にどのように読まれているかを考え、詩に表現されて作者の心情を理解することができるようになった。 (主体性) 唐詩や日本の漢詩を読み味わい、我が国の文化に及ぼした中国古典文学への関心を高めることができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【近現代の詩歌】(俳句)⑤ こころの帆	(知 技) 我が国の言語文化に特徴的な俳句の表現技法と、その効果について理解できるようになった。 (思判表) 俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わい、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈することができるようになった。 (主体性) 作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分の物の見方、感じ方を豊かにすることができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【漢文】思想⑥ ＜論語＞ [歴史の窓] *単元テスト	(知 技) 訓読のきまりを理解し、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができるようになった。 (思判表) 日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、内容や展開を的確に捉え、孔子のものの見方や考え方を理解することができるようになった。 (主体性) 孔子について興味をもち、『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするとところを粘り強く説明することができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出

<p>終業式 まで (6時間)</p>	<p>【言語事項】⑥ 漢字・語句の意味</p>	<p>(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けることができたようになった。 (主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標を持つことができたようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>
-----------------------------	-----------------------------	--	--

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】高等学校言語文化（第一学習社） 【その他】「実践文字カトリプルチェック」・「同準拠ノート」（尚文出版）</p>		
<p>学習方法</p>	<p>【主体的な学び】に関して ・復習に力を入れ、教科書・プリントをよく見直し内容を再確認し、疑問点を明らかにする。 ・文章を正しく読むように努める。 ・板書を写すだけでなく、必要に応じてメモをとる習慣を身に付ける。 【対話的な学び】に関して ・自分の意見・感想を持つことから始め、考えを文章にまとめることを繰り返す ・授業者や他の生徒の意見、先哲の考え方などにも耳を傾け、自身の考えに生かす。 【深い学び】に関して ・既習事項を本時の学習内容と関連付けて、自分の考えをより深いものとし、さらに自分の考えを作り上げる。</p>		
<p>評価方法</p>	<p>【知識・技能】について ・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト 【思考・判断・表現】について ・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト ・発問に対する解答や反応等 ・ワークシート・課題作文等 【主体的に学習に取り組む態度】について ・出席・授業態度・ワークシート（振り返りができているか）・提出物</p>		

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	地歴	科目	地理総合	単位数	2	開講 学年	2年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

<p>学習目標</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; width: fit-content;"> <p>何ができるようになるか</p> </div>	<p>地理的な見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、地理的な諸事象をグローバルな視点及び地域的な視点から捉え、現代社会の地理的な諸課題を解決する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 生活圏，日本，世界を対象として，現代世界の地理的な諸事象を系統的，総合的に理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，地理的な情報を適切に収集，整理し，読み取ったりまとめたりする表現技法を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 地理的な諸事象の空間的な規則性や傾向，課題を見いだし，解決に向けて生活圏，日本，世界との関わりなどの多角的な視点から論理的に考察し，自らの考えを根拠とともに説明したり，議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 地理的な諸事象への関心を高め，それらを主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多文化共生や持続可能な社会の形成など，現代社会の地理的な諸課題の解決に向けて，よりよい社会を築こうとする態度を養う。</p>
--	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (16時間)	●第1章 地図と地理情報システム	<p>(知 技) ●日常生活の中で見られるさまざまな地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について地図や地理情報システムなどを用いて，その情報を収集し，読み取り，まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。</p> <p>(思判表) ●地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現する。</p> <p>(主体性) ●地図や地理情報システムについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>

	<p>● (序節) 生活文化の多様性</p> <p>1 節 世界の地形と人々の生活</p>	<p>(知 技) ●地形を形成する内的営力と外的営力について、その原動力と作用を理解できるようになった。</p> <p>●川や氷河がつくる山地・平野のさまざまな地形について、侵食・運搬・堆積などの作用をふまえて理解できるようになった。</p> <p>(思判表) ●地形と人々の生活との関わりについて日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考え、その過程と結果を結び付けられるようになった。</p> <p>(主体性) ●地形と人々の生活との関係性について関心と課題意識を高め、考えるようになった。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
<p>前期期末 まで (16 時間)</p>	<p>●2 節 世界の気候と人々の生活</p>	<p>(知 技) ●それぞれの気候の成り立ちと、その地域に暮らす人々の生活について、基本的なことが分かるようになった。</p> <p>(思判表) ●各気候区の特徴や人々の暮らしについて、地域性や日常生活との関連をふまえて考えるようになった。</p> <p>(主体性) ●様々な気候と人々の生活に対する関心と課題意識をもてるようになった。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
<p>後期中間 まで (18 時間)</p>	<p>5 節 世界の産業と人々の生活</p> <p>1 人々の生活を支える農業の発展</p> <p>2 人々の生活を支える工業の発展</p>	<p>(知 技) ●人々と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について理解している。</p> <p>●工業の発達と生活の変化、工業地域の地域差について理解している。</p> <p>(思判表) ●人々の工夫と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>●工業の発達と生活の変化、工業地域の地域差について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(主体性) ●人々の工夫と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている</p> <p>●人々の工夫と農業の発展、農業の発展と生産性、農業の近代化とその課題について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>

<p>後期期末 まで (16 時間)</p>	<p>第 2 章 地球的課題と国際協力 3 節 資源・エネルギー問題</p>	<p>(知 技) ●エネルギーの種類と資源利用の変化, 国によって異なる電力構成, 鉱産資源の利用について理解している。 (思判表) ●エネルギーの種類と資源利用の変化, 国によって異なる電力構成, 鉱産資源の利用について, 多面的・多角的に考察し, 表現している。 (主体性) ●エネルギーの種類と資源利用の変化, 国によって異なる電力構成, 鉱産資源の利用について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
<p>終業式 まで (4 時間)</p>	<p>第 3 部 持続可能な地域づくりと私たち 第 1 章 自然災害と防災</p>	<p>(知 技) ●我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に, 地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに, 自然災害の規模や頻度, 地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について, その情報を収集し, 読み取り, まとめる地理的技術を身に付ける。 (思判表) ●地域性を踏まえた防災について, 自然及び社会的条件との関わり, 地域の共通点や差異, 持続可能な地域づくりなどに着目して, 主題を設定し, 自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し, 表現する。 (主体性) ●自然環境と防災について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究, 解決しようとする態度を養う。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】: 高等学校 新地理総合 (帝国書院) 【地図】: 標準高等地図 一地図でよむ現代社会一 (帝国書院)</p>
<p>学習方法 どのよう に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して ・わからない文章や言葉があれば、「チェック」を付け、できるだけ調べておくこと。 ・教科書を読んで、「なぜ?」「どうして?」と思ったことを記録しておくこと。 【対話的な学び】に関して ・疑問に思ったことや与えられた課題に対して、自分なりの考えをもって授業に参加すること。 ・わからなかったことや疑問に思っていたことを、クラスの仲間と対話しながら解決する姿勢で授業に参加すること。 【深い学び】に関して ・クラスの仲間や先生との対話から、新しい発見や、さらなる疑問を見出し、それまでの自分の見方や考え方よりも、より広く深い見方や考え方ができるようになることを目指すこと。</p>

<p>評価方法</p> <p>学習到達状況をどのよう に確認するか</p>	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの課題レポート ・ 定期考査 <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 単元ごとの課題レポート <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroom ・ 学習課題や授業に取り組む態度など
---	--

		<p>できる。</p> <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 試行や事象の考えを用いて、確率の基本的な法則について考察できる。 ・ 組合せや集合の考えを利用して、いろいろな事象の確率を考察できる。 ・ 排反事象について、組合せを利用して確率を考察できる。 ・ 余事象を利用して確率を求めることを考察できる。 ・ 独立な試行の確率について、具体的な事象の確率を考察できる。 ・ 反復試行の確率について、具体的な事象の確率を考察できる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な事象の考察に、確率の考えを利用しようとしている。 ・ 実験を通して頻度の割合を求めることで、確率の意味を理解しようとしている。 ・ 排反事象や余事象を利用した確率について、具体的な事象の確率を求めようとしている。 ・ 独立な試行の確率について、具体的な事象の確率を求めようとしている。 ・ 反復試行の確率について、具体的な事象の確率を求めようとしている。 	
後期中間 まで (18 時間)	確率 4 時間	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 条件つき確率の意味を理解し、その確率を求めることができる。 ・ 期待値の意味を理解し、求めることができる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 条件つき確率を利用して、具体的な事象の確率を考察できる。 ・ 乗法定理を利用して、具体的な事象の確率を考察できる。 ・ 期待値を意思決定に活用できる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 条件つき確率について、具体的な事象の確率を求めようとしている。 ・ 身の回りのことがらについて、期待値を求めようとしている。 	知 技 A B C 思判表 A B C 主体性 A B C
	● 図形の性質 作図 8 時間	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 垂直 2 等分線、垂線、角の 2 等分線の作図の方法を理解し、作図ができる。 ・ 平行線、等分点の作図の方法を理解し、作図ができる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定規とコンパスを用いて基本的な作図ができることについて考察できる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図形の性質に着目し、作図の方法について論理的に考えようとしている。 ・ 図形の性質に着目し、作図の方法について論理的に考えようとしている。 	知 技 A B C 思判表 A B C 主体性 A B C

	<p>三角形の性質</p> <p>6 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の内角と外角の関係を理解し、角の大きさを求めることができる。 ・角の2等分線と線分の比の関係を理解し、線分の長さを求めることができる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の内角と外角の関係を考察できる。 ・角の2等分線と線分の比の式を導く過程を考察できる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学んだ内容をふり返りながら、三角形の性質の理解を深めようとしている。 ・辺の長さや三角形の形状の関係や、三角形の成立条件などについて調べようとしている。 	<p>知 技 A B C</p> <p>思判表 A B C</p> <p>主体性 A B C</p>
	<p>三角形の性質</p> <p>6 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の外心・内心・重心の性質を理解し、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 ・三角形の外心・内心・重心の作図の方法を理解し、作図ができる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の外心・内心・重心の性質を考察できる。 ・三角形の外心・内心・重心の性質とそれらの作図方法を関連づけて考察できる。 ・定規とコンパスを用いて三角形の外心・内心・重心の作図ができることについて考察できる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙で、外心・内心・重心を求めようとしている。 ・いろいろな作図の方法を利用して、外心・内心・重心以外にも特徴的な点がないか調べようとしている。 	<p>知 技 A B C</p> <p>思判表 A B C</p> <p>主体性 A B C</p>
<p>後期期末 まで (16 時間)</p>	<p>円の性質</p> <p>1 0 時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円周角の定理を理解し、角の大きさを求めることができる。 ・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件について理解し、角の大きさを求めたり、四角形が円に内接するか判断したりすることができる。 ・円の接線と接点を通る弦とのつくる角の性質について理解し、その角の大きさを求めることができる。 ・円の接線の性質について理解し、線分の長さを求めることができる。 ・方べきの定理について理解し、線分の長さを求めることができる。 ・2つの円の位置関係について理解できる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円周角の定理について、その性質を考察できる。 ・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件について、その性質を考察できる。 ・円の接線と接点を通る弦とのつくる角について、その性質を考察できる。 ・方べきの定理について、その性質を考察できる。 ・2つの円の位置関係を考察できる。 <p>(主体性)</p>	<p>知 技 A B C</p> <p>思判表 A B C</p> <p>主体性 A B C</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学んだ内容をふり返りながら、円の性質の理解を深めようとしている。 ・円に内接する四角形の性質を利用して、いろいろな角の大きさを求めようとしている。 ・四角形が円に内接するための条件を利用して、いろいろな四角形が円に内接するか調べようとしている。 ・円の接線と接点を通る弦とのつくる角の性質を用いて、いろいろな角の大きさを求めようとしている。 ・方べきの定理を用いて、いろいろな線分の長さを求めようとしている。 ・2つの円の位置関係と共通接線の本数がどのようになるか調べようとしている。 	
<p>終業式 まで (4時間)</p>	<p>空間図形</p> <p>4時間</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間における2直線や2平面の位置関係について理解し、それらのつくる角の大きさを求めることができる。 ・空間における直線と平面の位置関係についてどのような場合があるか理解し、直方体などについて各直線や各平面どうしが、どの位置関係に該当するかわかる。 ・多面体の性質を理解し、頂点の数などを求めることができる。 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間における直線や平面の位置関係について考察できる。 ・多面体について、その性質を考察できる。 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間における直線・平面の位置関係に関心を持ち、いろいろな場合について調べようとしている。 ・多面体の性質に関心を持ち、いろいろな多面体で調べようとしている。 	<p>知 技 A B C</p> <p>思判表 A B C</p> <p>主体性 A B C</p>

使用教材 参考図書	<p>【教科書】：実教出版 高校数学A</p> <p>【その他】：</p>
<p>学習方法</p> <p>どのよう に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」という疑問を大切にし、問題解決の過程を重視するよう努めてください。 ・数学と生活との関連に目を向け、問題解決の目的意識をもち、数学を活用しようと努めてください。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着眼点や発想を、まずは自分なりに表現するよう努めてください。さらに、お互いに理解し合えるように分かりやすく説明し表現しようと努めてください。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように考えたら上手くできたのか、どのようなことを利用したのか、以前に学習した内容と似ているところはないか、などのように、新たに学んだことを振り返るようにしてください。
<p>評価方法</p> <p>学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について</p> <p>定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します。</p> <p>【思考・判断・表現】について</p> <p>定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <p>授業中の発表、質問、課題への取り組み等によって評価します。</p>

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2	開講 学年	2年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標	<p>生物学的な見方・考え方を働かせ、科学的な探究の過程を通して、生物や生命現象を科学的に捉える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 生物や生命現象を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念を日常生活や社会と関連付けて理解するようにする。</p>
	<p>(2) 思考力、判断力、表現力 観察、実験などを行い、生物や生命現象の中から課題を見だし、科学的に探究し、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 生物や生命現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、生物学を生活や社会に生かそうとする態度を養う。</p>

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (16時間)	<p>第1部 第1章 生物の多様性と共通性</p> <p>1 生物の多様性</p> <p>2 生物の共通性</p> <p>3 生物の進化と系統</p> <p>4 細胞と個体の成り立ち</p> <p>5 真核細胞の構造</p> <p>6 原核細胞の構造</p> <p>第1部 第2章 生命活動とエネルギー</p> <p>7 代謝</p> <p>8 ATP</p> <p>9 生体内の化学反応と酵素</p> <p>10 光合成と呼吸</p>	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物群の系統樹上での類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がわかる。 ・単細胞生物の構造とその働き、多細胞生物の器官の働き、細胞と組織の多様性がわかる。 ・細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点がわかる。 ・ATP が果たす役割について理解する。 ・酵素反応の特徴を理解できる。 ・光合成の場である葉緑体と呼吸の場であるミトコンドリアを理解する。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物としての共通の特徴をあげることができ、多様な生物群が単一の共通先祖に由来すると考えることができる。 ・単細胞生物の構造と働き、多細胞生物の構造と働きの例をあげることができる。 ・細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点を考えることができる。 ・代謝におけるエネルギーについて考えることができる。 ・酵素の働きについて考えることができる。 ・細胞内での光合成の場と呼吸の場を葉緑体やミトコンドリアと関連させることができる。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。 ・単細胞生物の構造の多様性と、多細胞生物の細胞と組織の多様性に関心を持つ。 ・細胞小器官の特徴と働きに注目する。 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝、ATP とエネルギーの移動について調べようとする。 ・酵素の役割について関心を持つ。 ・光合成と呼吸の反応とエネルギーの転換を関連させて考えることができる。 	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返り

<p>前期期末 まで (16 時間)</p>	<p>第2部 第1章 遺伝情報を担う物質 11 生物と遺伝情報 12 DNA の構造と遺伝情報 13 DNA の複製 14 DNA と染色体 15 細胞周期と DNA の分配 16 細胞周期と DNA 量の変化 第2部 第2章 遺伝情報とタンパク質 17 遺伝子の発現とタンパク質 18 転写と翻訳 19 遺伝暗号表 20 遺伝子の発現と維持</p>	<p>(知識・技能) ・DNA の抽出について理解する。 ・DNA の二重らせん構造と塩基の相補性の重要性が理解できる。 ・遺伝情報の複製は塩基配列の相補的な複製であることが理解できる。 ・細胞周期と体細胞分裂の各期の特徴が分かり、遺伝情報の分配の時期がわかる。 ・塩基配列と遺伝情報の関係と、アミノ酸配列がタンパク質の種類を決める事を理解する。 ・転写と翻訳の過程を理解し、遺伝情報が転写された mRNA の役割を理解することができる。 ・タンパク質が生命現象と関連して多様な働きをしていると考えることができる。 ・遺伝情報はほとんどの細胞で維持されているが、遺伝子の発現は調節されていることがわかる。 (思考・判断・表現) ・DNA の二重らせん構造における塩基配列が遺伝情報となると考えることができる。 ・母細胞の DNA の複製は塩基配列の相補的な複製であることが表現できる。 ・細胞周期と染色体の変化の関係を考えることができる。 ・DNA の塩基配列の情報がタンパク質のアミノ酸配列の情報になると対応することができる。 ・遺伝情報である塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 ・個体を構成する細胞は遺伝的に同一で、部位によって発現する遺伝子が異なると考えることができる。 (主体的に学習に取り組む態度) ・遺伝子が親から子へと伝えられる因子であること、DNA の特徴について関心をもち考えようとする。 ・DNA が複製されることにより、遺伝情報が伝えられることを調べようとする。 ・体細胞分裂と細胞周期が染色体の変化によって観察できることに関心を持つ。 ・RNA とタンパク質の構造、および転写と翻訳のしくみに関心を持つ。 ・遺伝情報をゲノムととらえることに関心を持つ。 ・ゲノム医療など最新の医学的課題にも関心を持つ。</p>	<p>(知識・技能) ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 (思考・判断・表現) ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 (主体的に学習に取り組む態度) ・授業の振り返り</p>
<p>後期中間 まで (18 時間)</p>	<p>第3部 第1章 神経系と内分泌系による調節 21 恒常性と体液 22 血液凝固のしくみ 23 恒常性に関わる神経系 24 自律神経系と生命維持 25 ホルモンによる調節 26 ホルモン分泌の調節 27 血糖濃度の変化と糖尿病 28 血糖濃度の調節のしくみ</p>	<p>(知識・技能) ・体内環境とは体液の環境であり、恒常性が重要であることを理解する。 ・体液（血液・リンパ液・組織液）の成分や働き、循環系を理解する。 ・運動前後において、心拍数を計測することで、心拍数の変化を観察することができる。 ・心拍は自律神経によってもアドレナリンというホルモンによっても調節を受けていることを理解する。</p>	<p>(知識・技能) ・単元テスト ・定期考査 (思考・判断・表現) ・問題演習 ・定期考査 (主体的に学習に取り組む態度) ・授業の振り返り</p>

	<p>29 体温と水分量の調節 第3部 第2章 免疫</p> <p>30 生体防御の概要</p> <p>31 異物の侵入を阻止するしくみ</p> <p>32 自然免疫のしくみ</p> <p>33 獲得免疫の概要</p> <p>34 細胞性免疫と体液性免疫</p> <p>35 抗体とその利用</p> <p>36 免疫記憶とその利用</p> <p>37 免疫と病気①</p> <p>38 免疫と病気②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌され、血液で運ばれてきた細胞に働くことが理解できる。 ・血糖濃度とインスリン濃度のグラフからインスリンの効果を読みとることができる。 ・体温調節には、肝臓や筋肉汗腺が重要な働きをしていることがわかる。 ・水分調節はバソプレシンや、鉱質コルチコイドの作用により水が再吸収されることがわかる。 ・生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。 ・微生物が共通してもつパターンを認識しての防御反応であることを理解する。 ・生体に異物が侵入してから起こる経過を体液性免疫と細胞性免疫にわけて理解する。 ・予防接種、ワクチンと免疫の関係がわかる。 (思考・判断・表現) ・生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができ、循環系と体液の働き(酸素解離や血液凝固など)を考えることができる。 ・動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。 ・ホルモンにより器官の活動が調節されており、その量はフィードバック調節されている。 ・血糖濃度や水分量、体温が、自律神経の働きやホルモンの作用により一定の範囲に保たれていると考えることができる。 ・体液の恒常性における肝臓や腎臓の働きを考えることができる。 ・マクロファージの食作用を観察して免疫について考えることができる。 ・自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。 ・アレルギーなどの免疫反応を例をあげて説明できる。 (主体的に学習に取り組む態度) ・体内環境の恒常性に関心を持ち、体液の成分、体液の働き、循環に興味を持つ。 ・体内環境の恒常性に自律神経がかかわっていることを調べようとする。 ・多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌されていることに関心を持つ。 ・自律神経とホルモンが共同して恒常性を維持していることに関心を持つ。 ・肝臓や腎臓の機能に関心を持ち、体液の恒常性に果たす役割を知ろうとする。 ・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて調べようとする。 ・免疫のしくみに関心を持つ。 ・予防接種や感染症との関連も含めて、免疫に関する話題に興味を持つ。 	
<p>後期期末 まで</p>	<p>第4部 第1章 植生と遷移</p> <p>39 環境と生物</p>	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物の形態に環境への適応が現れる例があり、光 	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト

<p>(16 時間)</p>	<p>40 光の強さと植物 41 森林の階層構造と土壌 42 遷移の過程 43 遷移に伴う環境の変化 44 遷移と世界のバイオーム 45 日本のバイオーム 第 4 部 第 2 章 生態系とその保全 46 生態系における生物の役割 47 種の多様性と食物連鎖 48 生態系と生態ピラミッド 49 キーストーン種と絶滅 50 生態系のバランスと変動 51 人間活動と生態系 52 生物濃縮 53 外来生物</p>	<p>要因も大きな要因のひとつであることが分かる。 ・植生の一次遷移に伴って植物種数や地表照度, 土壌の厚さ, 土壌有機物%などの変化をグラフ化し, 読みとることができる。 ・気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 ・水平分布, 垂直分布がわかる。 ・生態系を食物連鎖の関係で把握することができ, それぞれの量的関係を理解できる。 ・キーストーン種について理解できる。 (思考・判断・表現) ・生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物をあげて考えることができる。 ・間接効果について考えることができる。 ・生態系のバランスについて考えることができる。 ・外来生物の影響について考えることができる。 (主体的に学習に取り組む態度) ・ヒトデを除去すると, 生態系を構成する生物の種数が変化することに関心をもち生態系について理解しようとする。 ・生態系に与える人間生活の影響について関心をもっている。</p>	<p>・実験の操作 ・定期考査 (思考・判断・表現) ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 (主体的に学習に取り組む態度) ・授業の振り返り</p>
<p>終業式 まで (4 時間)</p>	<p>第 4 部 第 2 章 生態系とその保全 54 生物多様性と生態系の保全 55 地球温暖化 56 生態系と人間生活</p>	<p>(知識・技能) ・生物多様性を保全することの重要性がわかる。 (思考・判断・表現) ・生態系を保全することが重要であると考えることができる。 ・絶滅と生息地の面積の関係について考えることができる。 (主体的に学習に取り組む態度) ・環境問題などについて関心をもっている。</p>	<p>(知識・技能) ・実験の操作 (思考・判断・表現) ・問題演習 ・実験の考察 (主体的に学習に取り組む態度) ・授業の振り返り</p>

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】: i 版 生物基礎 改訂版 (啓林館)</p>
<p>学習方法 どのよう に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して ・授業を受ける前に教科書をしっかり読んでおくこと。 ・疑問点 (詳しく知りたいと思った所やよく理解できなかった所) に印を付けておくこと。 【対話的な学び】に関して ・疑問点の解決及び授業目標の達成に向けてクラスメイトと協力して授業を受けること。 【深い学び】に関して ・授業で作成したノートを用い、その日のうちにその日の授業の流れを思い出すこと。</p>
<p>評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について ・「実験操作」、「単元テスト」、「定期考査」など 【思考・判断・表現】について ・「実験の考察」、「確認テスト」、「定期考査」など 【主体的に学習に取り組む態度】について ・「出席状況」、「実験に取り組む態度」、「ノート」など</p>

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2	開講学年	2年
----	------	----	----	-----	---	------	----

<p>学習目標</p> <p>何ができるようになるか</p>	<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 各種運動の特性に応じた技能を身に付けるとともに、運動の意義や効果、学び方などを理解できるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 運動の特性に応じた自己の課題を見いだし、合理的、計画的な練習やきまりの工夫などを通して、課題の解決に向けた取組を工夫するとともに、自己や他者の考えを尊重し、合意形成を図るなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 運動に親しむとともに、ルールなどを尊重し、自己の責任を果たしたり、互いに協力したりして運動を実施しようとする態度、健康・安全を確保しようとする態度、スポーツを多角的に捉えて親しもうとする態度などを養う。</p>
--------------------------------	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (16時間)	◎体づくり運動 ●球技Ⅰ (バドミントン・ソフトテニス) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●状況に応じたラケットの操作ができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
前期期末 まで (16時間)	●ダンス	(知 技) ●感じを込めて踊ったり自己や仲間の課題を解決したりできるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
	●球技Ⅱ (バレーボール) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●連携した動きをすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	
後期中間 まで (18時間)	●球技Ⅲ (バドミントン) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●動きによって空間を作り出す攻防をすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
後期期末 まで (16時間)	●球技Ⅳ (バスケットボール・サッカー) ※ゴール型 ◎体育理論	※ゴール型 (知 技) ●空間を埋める動きができるようになった。 (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・端末での感想 (主体性) ・出席状況

終業式 まで (4時間)	◎体育理論 ※後期期末考査後から	※体育理論 (知 技) ●文化的特性や現代スポーツの発展について理解することができるようになった。	・授業態度
--------------------	---------------------	--	-------

使用教材 参考図書	【教科書】： なし 【その他】： なし
学習方法 どのように学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの課題に対してアドバイスを聞いたり、練習したりする。 ・種目の特性やルール、行い方などを調べる。 ・皆と協力して活動する。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間の課題に対してアドバイスしたり、課題を共有したりして改善するよう話し合う。 ・動画を確認して互いの課題解決に向けて練習する。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決の実践方法を得るなど、合理的な実践ができるように、ICT を有効活用し、課題解決に向けた調べ学習などを行う。
評価方法 学習到達状況をどのように確認するか	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキルテスト（実技）、端末等を使って動画撮影によるスキルテスト <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動、端末等を使っての授業の感想の提出 <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の点呼（出席状況）、授業態度 等
準備物	Chromebook 等の端末、 運動のできる服（夏：半袖シャツ、ハーフパンツ 冬季：上下ジャージ） 体育館シューズ、グラウンドシューズ※運動のできない服装での参加は不可。例：ジーパン、スカート、制服 等

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1	開講 学年	2年
----	------	----	----	-----	---	----------	----

<p>学習目標</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> 何ができるようになるか </div>	<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯にわたって自他共に健康を保持増進し、健やかで活力ある社会を形成する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 健康の保持増進や疾病の予防、安全な社会生活などについて、科学的な根拠に基づいて理解し、健康に関する情報を適切に選択し、活用する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 個人及び社会生活における健康・安全に関する諸課題を見だし、その解決に向けて思考し判断するとともに、自分の考えを根拠とともに説明したり、議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 健康・安全に関する諸課題を主体的に解決し、生涯にわたって自他共に健康を保持増進しようとする態度を養う。</p>
---	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (8時間)	<p>●社会生活と健康</p> <p>3-8. 働くことと健康 3-9. 労働災害と健康 3-10. 健康的な職業生活</p> <p>●生涯を通じる健康</p> <p>3-1. ライフステージと健康 3-2. 思春期と健康 3-3. 性意識と性行動の選択</p>	<p>(知 技)</p> <p>①働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解することができるようになった。</p> <p>②労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解することができるようになった。</p> <p>③思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解することができるようになった。</p> <p>④結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解することができるようになった。</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ノート <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ノート <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・ノート
前期期末 まで (8時間)	<p>3-4. 妊娠・出産と健康 3-5 避妊法と人工妊娠中絶 3-6. 結婚生活と健康 3-7. 中高年期と健康</p>	<p>⑤家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解することができるようになった。</p> <p>⑥中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解することができるようになった。</p> <p>⑦高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを理解することができるようになった。</p> <p>(思判表)</p> <p>生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようになった。</p> <p>(主体性)</p> <p>各ライフステージにおける健康課題や対策について対応できる態度ができるようになった。</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ノート <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ノート <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・ノート

<p>後期中間 まで (9時間)</p>	<p>●社会生活と健康 4-1. 大気汚染と健康 4-2. 水質汚濁・土壌汚染と健康 4-3. 環境と健康にかかわる対策 4-4. ごみの処理と上下水道の整備</p>	<p>(知 技) ①人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということを理解することができるようになった。 ②健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることを理解できるようになった。 ③上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることを理解することができるようになった。 ④人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることを理解することができるようになった。 ⑤食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、さまざまな基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることを理解することができるようになった。 ⑥我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることを理解することができるようになった。 ⑦健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることを理解することができるようになった。 ⑧医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて理解することができるようになった。 ⑨我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解することができるようになった。</p>	<p>(知 技) ・定期考査 ・ノート (思判表) ・定期考査 ・ノート (主体性) ・出席状況 ・ノート</p>
<p>後期期末 まで (8時間)</p>	<p>4-5. 食品の安全性 4-6. 食品衛生にかかわる活動 ●生涯を通じる健康 4-7. 保健サービスとその活用 4-8. 医療サービスとその活用 4-9. 医薬品の制度とその活用 4-10. さまざまな保健活動や社会的対策 4-11 健康に関する環境づくりと社会参加</p>	<p>(知 技) ①人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということを理解することができるようになった。 ②健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることを理解できるようになった。 ③上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることを理解することができるようになった。 ④人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることを理解することができるようになった。 ⑤食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、さまざまな基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることを理解することができるようになった。 ⑥我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることを理解することができるようになった。 ⑦健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることを理解することができるようになった。 ⑧医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて理解することができるようになった。 ⑨我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解することができるようになった。</p> <p>(思判表) 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連づけて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようになった。</p> <p>(主体性) 各ライフステージにおける健康課題や対策について対</p>	<p>(知 技) ・定期考査 ・小テスト (思判表) ・定期考査 ・ノート (主体性) ・出席状況 ・ノート</p>

		応できる態度ができるようになった。	
終業式 まで (2時間)	レポート発表	(思考・判断・表現) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的計画的な解決に向けて思考判断し、目的や状況に応じて他者に伝える事ができるようになった	(知 技) ・レポート (思判表) ・レポート (主体性) ・レポート ・出席状況

使用教材 参考図書	【教科書】： 現代高等保健体育 【その他】：
学習方法 どのよう に学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書を事前に読み、大事なところに線を引いたり、分からないことをメモしたりして授業時に質問できるようにしておく。(予習) スライドから大切と感じたことをノートにメモをとる。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアワークやグループワークの中で、自分の考えを伝えたり、相手の意見を聞いたり、大切なところはメモをとるようにする。 分からないところがあれば積極的に質問をする。 友人が困っている時には指示を伝えたり、ノートを見せたりする。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、興味のあることや分からないところの調べ学習を行う。 レポート作成などで、自ら情報を集め、それらを整理してまとめる。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	<p>【知識・技能】について</p> <p>定期考査、単元テスト</p> <p>【思考・判断・表現】について</p> <p>グループワークの活動を評価したり、ワークシートの振り返りやレポートの記述の仕方、自らの評価等を参考に評価する</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <p>出席状況や授業態度を基本に、自らの健康安全に向けた態度が身に付いているか、レポート作成や実習等の態度や授業に取り組む態度で評価する</p>

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2	開講学年	2年
----	----	----	------	-----	---	------	----

学習目標	生活の見方・考え方を働かせ、持続可能な社会の構築に向けて、生活の営みに係る個人、家族・家庭、地域及び社会との関わりについて、生活の自立と創造の観点から深く理解し、生活上の諸課題を解決する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 知識及び技能 家族・家庭の在り方、発達と保育、高齢者の生活、衣食住、消費生活・環境などについて、生活の自立と創造に必要な知識を習得し、生活技術を身に付けるようにする。 (2) 思考力、判断力、表現力 生涯を見通した生活上の課題や地域・社会の課題について、多角的な視点から考察し、解決に向けて自ら判断して計画を立て、実践する力を養う。 (3) 学びに向かう力、人間性 家庭や地域社会をよりよくしようとする実践的な態度を養う。
	何ができるようになるか

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	自己評価欄
前期中間 まで (16時間)	第1章 生活のマネジメント・ 人の一生と生涯発達 ・生涯の生活設計	(知 技) ・生涯発達の考え方に立ち、ライフステージごとの特徴と課題について理解できるようになった (思判表) ・高校生活の課題、自己の生き方、将来の家庭生活と職業生活のあり方について考えを深めながら、生活設計を立案することができるようになった (主体性) ・自分らしいライフスタイルや生活に関わる価値観、生活時間のあり方などをふまえ、将来の生活設計について考えることができるようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
	第2章 青年期の課題と自立 ・青年期の課題と自立 ・主体的に生きるための意思決定	(知 技) ・自立とは何かについて理解できるようになった ・青年期の自立について理解することができるようになった (思判表) ・自立や男女の平等と相互の協力などの青年期の課題について、自己の生き方と関連させて考えを深め、まとめることができるようになった ・自立とは何か、自立を達成するために今、できることは何かについて考え、まとめることができるようになった (主体性) ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、青年期の課題について考えることができるようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
	第3章 家族・家庭生活のマネジメント ・現代の家族・家庭 ・家族・家庭に関する法律 ・家族・家庭と社会	(知 技) ・現代の家族の特徴や家庭の機能について理解できるようになった (思判表) ・家族・家庭に関する法律をもとに、社会制度としての家族について考えを深め、まとめることができるようになった (主体性) ・固定的な性別役割分業意識の見直しや仕事と生活の調和、男女が協力して築く家族・家庭について意見	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート ・レポート

		<p>交換ができ、実際の場面においても対応できる力を備えることができるようになった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の機能、家事労働と職業労働などに関心を持ち、これからの家族のあり方や社会との関わりについて考えることができるようになった 	
	<p>第10章 衣生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活を見つける ・きごこちのよい被服 ・被服製作の基本 (被服製作実習) 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途や着用目的に合った被服材料の選択ができるようになった ・布の裁ち方、まち針の打ち方、玉止め、玉結び、並縫い、まつり縫いといった縫製の基本技術が正しくできるようになった <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康と安全に配慮した被服の調達と活用などについて考えを深め、まとめることができるようになった ・今、行なっている作業が、完成品のどの部分の工程なのかを縫製工程と照らし合わせながら作業することができるようになった <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の衣生活について振り返り、課題を見付けようとするできるようになった ・被服材料の性能と特徴について、着ごこちなどに関連させて具体的に考えようとするできるようになった 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録 (思判表) ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録 (主体性) ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録
<p>前期期末 まで (16 時間)</p>	<p>第10章 衣生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活を見つける ・きごこちのよい被服 ・被服製作の基本 (被服製作実習) 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途や着用目的に合った被服材料の選択ができるようになった ・布の裁ち方、まち針の打ち方、玉止め、玉結び、並縫い、まつり縫いといった縫製の基本技術が正しくできるようになった <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康と安全に配慮した被服の調達と活用などについて考えを深め、まとめることができるようになった ・今、行なっている作業が、完成品のどの部分の工程なのかを縫製工程と照らし合わせながら作業することができるようになった <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の衣生活について振り返り、課題を見付けようとするできるようになった ・被服材料の性能と特徴について、着ごこちなどに関連させて具体的に考えようとするできるようになった 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録 (思判表) ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録 (主体性) ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録
<p>後期中間 まで (18 時間)</p>	<p>第10章 衣生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の計画と管理 ・被服製作の基本 (被服製作実習) 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗剤の働きと汚れが落ちるしくみ、乾式洗濯と湿式洗濯の特徴や利用上の注意について理解できるようになった ・布の裁ち方、まち針の打ち方、玉止め、玉結び、並縫い、まつり縫いといった縫製の基本技術が正しくできるようになった <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に調和したライフスタイルのあり方について思考を深め、考えをまとめることができるようになった ・今、行なっている作業が、完成品のどの部分の工程 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録 (思判表) ・定期考査 ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録 (主体性) ・定期考査

		<p>なのかを縫製工程と照らし合わせながら作業することができるようになった</p> <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージや自分のライフスタイルに応じた健康で合理的な衣生活を送ることに関心をもつことができるようになった 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・被服実習作品 ・実習記録
	<p>第5章 高齢期の生活の マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢期という時期 ・高齢期の生活と課題 ・高齢期の生活を支える高齢者福祉 ・高齢社会の現状と課題 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加齢にともなう心身の変化と特徴を理解し、それを支える具体的な方法や留意すべきことなどについて理解できるようになった <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の特徴の一般的变化と個人差に気づき、高齢者の生活の現状と課題について具体的に考えを深め、まとめることができるようになった <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・地域における世代間交流の実践について考えることができるようになった 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
<p>後期期末 まで (16 時間)</p>	<p>第8章 経済生活のマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の消費生活 ・消費者問題の現状と課題 ・消費者の権利と責任 ・消費生活における意思決定 ・家庭の経済生活 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通した経済計画の必要性について理解できるようになった ・契約や多様化する消費者問題の特徴を理解できるようになった <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルバイトや就職などを念頭におきながら、自分だったらどうするかについて考えを深め、まとめることができるようになった ・多様化・複雑化する消費生活の課題について考えを深め、まとめることができるようになった <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯に起こりそうなリスクを想定しながら、経済計画について具体的に考えることができるようになった ・消費者問題の課題に関心をもつことができるようになった 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・定期考査 ・ワークシート
<p>終業式 まで (4 時間)</p>	<p>第6章 共生社会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ともに生き、ともに自立する ・生活と社会のセーフティネット 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の理念について理解している ・自助・互助・共助・公助について、具体例とともに理解している ・リスク回避方法の一つとしてセーフティネットワークがあることを理解している ・ボランティアや地域活動に参加することができる <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自助・互助・共助・公助の具体的事例について調査・研究し、まとめたり発表したりすることができる ・共生社会の実現にむけて、自分の生活する地域ではどのようなことができるか、考えを深めたり、発表したりしている ・地域活動やボランティアの具体的事例について調査・研究し、まとめたり発表したりすることができる <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活にある自助・互助・共助・公助のあり方について考えようとしている 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (思判表) ・ワークシート (主体性) ・ワークシート

		・自分の能力をいかした地域活動について考えようとしている	
長期休業	ホームプロジェクト	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解できるようになった ・目標を明確にし、計画を立てて実践できるようになった <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中から課題を見出し、課題解決に向けて思考を深め、適切に判断できるようになった ・見やすさなどを考え、スライドを作成し、発表することができるようになった <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲をもって実践活動に取り組むことができるようになった 	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・スライド <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライド ・発表 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スライド

使用教材 参考図書	【教科書】: <small>クリエイティブ リビング</small> 「Creative Living 『家庭総合』で生活をつくろう」大修館書店
学習方法	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を受けながら、大切と感じた箇所等にアンダーラインを引く ・ホームプロジェクトにおいては、自らテーマを設定し、課題を見出し、その解決を図りながら、実践・改善等を行う <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとに新聞記事やグラフの読み取りを行い、自分の考えを記述し、班で意見交換を行う <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書籍や新聞等を利用し、学んだこととリンクさせ、深い学びに繋げる ・実験・実習を通して、知識を深める
どのよう に学ぶか	
評価方法	<p>【知識・技能】について</p> <p>定期考査、単元小テスト、被服実習作品、</p> <p>【思考・判断・表現】について</p> <p>定期考査、被服実習作品、実習記録、ワークシート、発表、ホームプロジェクト</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <p>定期考査、被服実習、ワークシート、授業態度、ホームプロジェクト</p>
学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	

令和8年（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	2	開講学年	2年
----	-----	----	--------------	-----	---	------	----

<p>学習目標</p> <p>何ができるようになるか</p>	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、日常的な話題や社会的な話題について、英語で的確に理解したり、適切に伝えたりする資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 知識及び技能 日常的な話題や社会的な話題について、英語の音声や語彙、表現、文法事項などの知識を習得し、これらを実際のコミュニケーションにおいて、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの領域を統合した言語活動で活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 思考力、判断力、表現力 日常的な話題や社会的な話題について、英語で的確に聞いて理解したり、読んで理解したりした情報や考えなどを基に、目的に応じて論理的に構成して表現し伝えたり、詳細にやり取りしたりする力を養う。</p> <p>(3) 学びに向かう力、人間性 英語の背景にある文化を理解し、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、協力的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
--------------------------------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (16時間)	●Lesson 1 ●Lesson 2 ●Lesson 3	<p>【読むこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について読み取り、聞き手に伝わるように読むことができる (主体性) ●英語で書かれていることを主体的に読もうとすることができる</p> <p>【聞くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について聞き取り、要点を捉えることができる (主体性) ●英語で話されていることを主体的に聞こうとすることができる</p> <p>【話すこと（やりとり）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる</p> <p>【書くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p> <p>【話すこと（発表）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとするすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
前期期末 まで (16時間)	●Lesson 4 ●Lesson 5 ●Lesson 6	<p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について聞き取り、要点を捉えることができる (主体性) ●英語で話されていることを主体的に聞こうとすることができる</p> <p>【話すこと（やりとり）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる</p> <p>【書くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p> <p>【話すこと（発表）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
後期中間 まで (18時間)	●Lesson 7 ●Lesson 8 ●Lesson 9	<p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる</p> <p>【書くこと】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p> <p>【話すこと（発表）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
後期期末 まで (16時間)	●Lesson 10 ●Lesson 11 ●Lesson 12	<p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる</p> <p>【話すこと（発表）】</p> <p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
終業式 まで (4時間)	●年間まとめ	<p>(知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとすることができる</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト (思判表) ・授業中課題 (主体性) ・授業態度

使用教材 参考図書	<p>【教科書】：COMET English Communication Ⅱ</p> <p>【その他】：補助プリント</p>
--------------	--

<p>学習方法</p> <p>どのような に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して 教科書の内容を予習し、自分の課題を見つけ、授業の中で解決できるようにする。</p> <p>【対話的な学び】に関して 分からないことは積極的に先生やクラスメイトに尋ねることができるようにする。 相手の意見を尊重しながら、自分の意見も発信できるようにする。</p> <p>【深い学び】に関して 異文化を理解するため、教科書の内容だけでなく、クロームブックを活用しながら他国のこと や自国のことについて調べて、まとめることができるようにする。</p>
<p>評価方法</p> <p>学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について 課題考査、定期考査、パフォーマンステスト等</p> <p>【思考・判断・表現】について 課題考査、定期考査、授業中課題、パフォーマンステスト等</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について 授業態度、提出物、ポートフォリオ等</p>

令和8（2026）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	2	開講学年	2年
学習目標	情報的な見方・考え方を働かせ、情報に関する科学的な理解を基に、情報を適正に活用し、情報技術を用いて問題を解決する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 知識及び技能 情報社会と人との関わり、情報デザイン、プログラミング、データの活用について、情報の科学的な側面から理解し、情報技術を適切に活用する技能を身に付けるようにする。 (2) 思考力、判断力、表現力 情報社会における諸課題を見だし、情報技術を適切かつ効果的に活用して解決する力を養う。 (3) 学びに向かう力、人間性 情報技術の進展が社会に及ぼす影響を理解し、情報社会に主体的に参画しようとする態度、情報を適正に扱う態度を養う。						
何ができるようになるか							

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (16時間)	オリエンテーション 第1章 情報社会と私たち 第1節 情報社会 (2時間)	(知 技) データ、情報、知識の意味と相互の関係について説明できるようになった。 (思判表) 情報の特性を活用した事例と、情報の特性によって生じる事例を挙げることができるようになった。 (主体性) 情報社会の現状についてインターネット等で調べることができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	第2節 情報社会の法規と権利 (4時間)	(知 技) 個人情報の概念や個人情報保護について理解し、知的財産の体系を理解し、今後の課題を見付けることができるようになった。 (思判表) 個人情報について考え、知的財産権の権利の相違を判断することができるようになった。 (主体性) 個人情報の保護に関心を示し、知的財産権について意欲的に調べることができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	第3節 情報技術が築く新しい社会 (6時間)	(知 技) POS システム、電子マネー、電子決済の仕組み、人工知能、IoT について説明できるようになった。 (思判表) IoT や人工知能などの情報技術を社会の問題解決に役立てる方法を提案することができるようになった。 (主体性) 社会の中の情報システムについて、インターネットで調べることができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	第2章 メディアンとデザイン 第1節 メディアンとコミュニケーション (2時間)	(知 技) 電子メール、電子掲示板、ブログやSNS などの知識を持ち、ツールを適切に活用できるようになった。 (思判表) コミュニケーションツールのメリットデメリットの両側面を考え、コミュニケーションの方法を選択できるようになった。 (主体性) 電子メール、電子掲示板、ブログやSNS などのコミュニケーションツールについて関心をもち、意欲的に調べることができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
前期期末 まで (16時間)	第2節 情報デザイン (4時間)	(知 技) 情報を伝達する際の注意事項について理解し、画像や表を効果的に企画書に取り入れることができるようになった。 (思判表) 目的や対象を明確にし、企画書、文字、表、グラフ、写真等を工夫して表現することができるようになった。 (主体性) 個人で調べたり、グループで話したりして、企画書の作成に、分かりやすく情報伝達しようと意欲的に取り組むことができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	第3節 情報デザインの実践 (4時間)	(知 技) プレゼンテーション制作の流れを理解し、プレゼンスライドを制作できるようになった。 (思判表) プレゼンテーションのテーマやストーリーが適切に構成され、評価の視点で問題点を指摘できるようになった。 (主体性) プレゼンテーションの企画から制作・発表・評価まで意欲的に行うことができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性)

			・授業態度
	第3章 システムとデジタル化 第1節 情報システムの構成 (6時間)	(知 技) コンピュータの構成や計算の仕組みについて説明することができる。 (思判表) 情報機器を相互に接続するために、適切なインタフェースを選択することができる。 (主体性) コンピュータを構成する装置とその性能について興味・関心を示し、自分で調べようとしている。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
後期中間 まで (18時間)	第2節 情報デジタル化 (8時間)	(知 技) アナログとデジタルの意味について理解し、デジタル化のメリットや圧縮の仕組みを理解できるようになった。 (思判表) アナログとデジタルを比較して適切に選択し、情報量を適切に表現することができるようになった。 (主体性) 情報のデジタル化や情報量に関心をもち2進数・10進数・16進数の相互変換に対して興味をもって取り組むことができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	第4章 ネットワークとセキュリティ 第1節 情報通信ネットワーク (4時間)	(知 技) インターネットの基本的なサービス内容と利用方法を理解し、各種インターネットサービスを活用できるようになった。 (思判表) ネットワーク通信方式の相違を判断し、目的に応じて適切にインターネットサービスを利用しファイルを、効果的に圧縮することができるようになった。 (主体性) ネットワークの特性や仕組みに興味をもって積極的に調べるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	第2節 情報セキュリティ (6時間)	(知 技) 情報セキュリティ対策の必要性を理解し、情報セキュリティを確保するための対策をとることができるようになった。 (思判表) 情報セキュリティの脅威に対する対策を正しく判断し、対処することができるようになった。 (主体性) コンピュータウイルスやサイバー犯罪の被害に遭わないよう対策を立てようとするようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
後期期末 まで (16時間)	第4章 問題解決とその方法 第1節 問題解決 (2時間)	(知 技) 問題解決の手順と解決するための工夫を理解し、検索エンジンやアンケートを利用して必要な情報を収集できるようになった。 (思判表) 情報収集・整理・分析に必要なものを考え、問題解決の評価を適切に表現ができるようになった。 (主体性) 問題解決のための計画や情報収集に率先して取り組むことができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	第2節 データの活用 (6時間)	(知 技) 条件データの種類と尺度水準について理解し、収集したデータを整理することができるようになった。 (思判表) 条件に合わせて適切に関数を選択し、課題に応じて利用するグラフを適切に利用できるようになった。 (主体性) 問題解決のため、表計算ソフト等を用いて収集した情報を処理したり、グラフで可視化したりすることに興味をもつことができるようになった。	(知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度

	第3節 モデル化 (6時間)	<p>(知 技) モデル化およびシミュレーションが社会の問題解決でどのように利用されているかを例を挙げて説明することができるようになった。</p> <p>(思判表) 動的に変化する現象のいくつかの事例について、図的モデルや数式モデルで表し、表計算ソフトウェアを用いて、グラフを作成することができるようになった。</p> <p>(主体性) 現実の現象についてのモデル化に関心を持ち、自ら進んでモデル化を試みるなど、自ら進んで学習することができるようになった。</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
終業式 まで (4時間)	第4節 シミュレーション (2時間)	<p>(知 技) シミュレーションの意義や方法について説明することができるようになった。</p> <p>(思判表) 表計算ソフトの関数を適切に選択・活用して、確率的モデルのシミュレーションをいくつか実行することができるようになった。</p> <p>(主体性) 待ち行列を事例に、表計算ソフトで実施したシミュレーションを再計算するなどして、試行錯誤してシミュレーションができるようになった。</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	第6章 アルゴリズムとプログラミング 第1節 プログラミングの方法 第2節 プログラミングの実践 (2時間)	<p>(知 技) アルゴリズムとプログラムについてそれぞれ説明することができるようになった。</p> <p>(思判表) 簡単なアルゴリズムを文章やフローチャート等の図で表現できるようになった。</p> <p>(主体性) 問題解決のためのアルゴリズムを考える学習に、興味をもって取り組むことができるようになった。</p> <p>(知 技) 変数を使用して選択構造や反復構造のプログラムを作成することができるようになった。</p> <p>(思判表) 関数を活用したプログラムを設計し、分かりやすく効率的なプログラムを作成することができるようになった。</p> <p>(主体性) 問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成しようとすることができる。</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度 (知 技) ・ 考査 (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度

使用教材 参考図書	<p>【教科書】：「最新情報新I」（実教出版）</p> <p>【その他】：各種メディアからの情報、プログラミング言語の参考本</p>
学習方法	<p>【主体的な学び】に関して 課題や目的に応じて情報手段を活用して、必要な情報を収集・判断・表現・処理し、発信・伝達できるようになってください。</p> <p>【対話的な学び】に関して 言語活動の充実を図るために、課題に対する自分の意見や調べたことについてグループで話し合う活動に、しっかり取り組んでください。</p> <p>【深い学び】に関して 情報活用能力を高めるため、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法を実践を通じて、理解できるようにしてください。</p>
評価方法	<p>【知識・技能】について 定期考査、単元テスト、実技テスト、プログラミングの演習</p> <p>【思考・判断・表現】について 情報モラルの遵守やセキュリティ対策等のレポート作成や発表、グループでの話し合い</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について 実習課題への粘り強い取組、自己評価や相互評価等</p>